

2019 参院選 連続調査第2回(選挙後)

兼県民の政治意識
第48回モニター調査

報告書

(2019年7月25日～8月6日調査)

I	調査の目的・設計	1
II	調査結果 概要	3
	クロス集計表	18
	記述回答	40
III	単純集計	50
IV	調査票	52



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の目的・設計

◆目的

第25回参議院選挙は2019年7月21日に実施され、自民、公明の与党が過半数を維持しました。ただ、安倍政権下での憲法改正に前向きな「改憲勢力」の議席は、改憲の国会発議に必要な3分の2を割り込みました。1人区となって2回目の長野県選挙区は、国民民主党の羽田雄一郎氏が5選を果たし、野党が連勝しました。

今回の世論調査は、参院選公示前の調査に続く「連続調査」の第2回です。県内有権者は、参院選でどのような選択をしたのか、また、選挙結果や今後の政治課題をどうとらえているかなど、政治意識を探りました。

◆設計

▽調査方法 長野県世論調査協会に登録しているモニターに調査票を郵送。
回答は、郵送、ファクス、インターネット、電話による聞き取りで回収。

【モニター】

性別や年代、選挙区別の比率が、長野県内の有権者の縮図となるよう登録者を選定している。現在、18歳以上の551人。モニター対象の世論調査は1995年の参院選後に初めて実施し、年2回程度、政治意識を中心に聞いている。

▽調査時期 2019年7月25日調査票発送～8月6日回収締め切り

▽調査対象 長野県世論調査協会の登録モニター551人

▽有効回収数 518人（男性245人 女性273人）

▽回収率 94.0%

▽回収方法の内訳

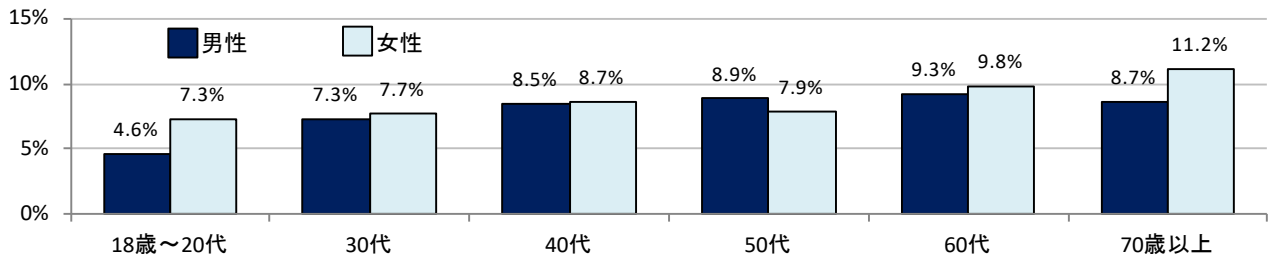
郵送	273 (52.7%)
ファクス	119 (23.0%)
インターネット	115 (22.2%)
電話聞き取り	11 (2.1%)

<注>報告書のパーセント数字は原則、小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。
見出しのみ小数点第1位を四捨五入。

回収サンプルの内訳

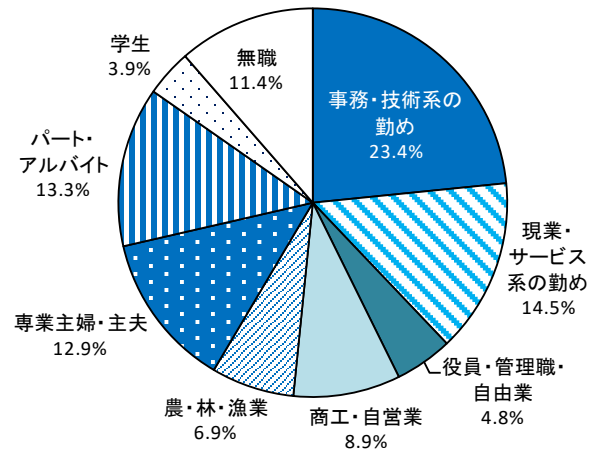
【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	518	62	78	89	87	99	103
	100.0%	12.0%	15.1%	17.2%	16.8%	19.1%	19.9%
男性	245	24	38	44	46	48	45
	47.3%	4.6%	7.3%	8.5%	8.9%	9.3%	8.7%
女性	273	38	40	45	41	51	58
	52.7%	7.3%	7.7%	8.7%	7.9%	9.8%	11.2%



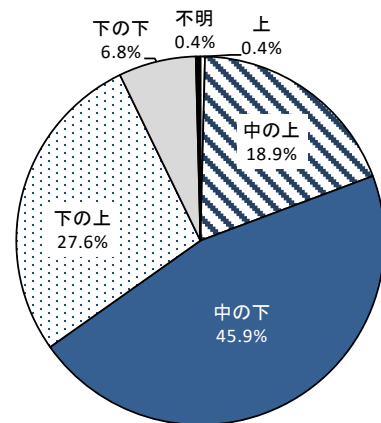
【職業】

事務・技術系の勤め	121	23.4%
現業・サービス系の勤め	75	14.5%
役員・管理職・自由業	25	4.8%
商工・自営業	46	8.9%
農・林・漁業	36	6.9%
専業主婦・主夫	67	12.9%
パート・アルバイト	69	13.3%
学生	20	3.9%
無職	59	11.4%
その他	-	-



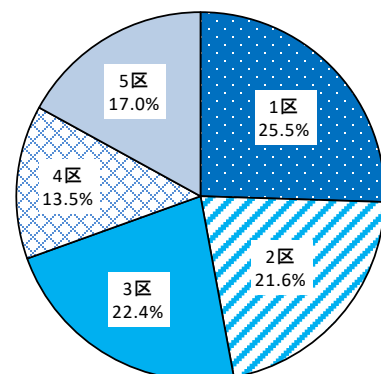
【暮らしぶり】

上	2	0.4%
中の上	98	18.9%
中の下	238	45.9%
下の上	143	27.6%
下の下	35	6.8%
不明	2	0.4%



【衆院小選挙区】

1区	132	25.5%
2区	112	21.6%
3区	116	22.4%
4区	70	13.5%
5区	88	17.0%



参院選の結果

問1 今回の参院選の結果について、あなたの受け止めに伺います。

A 自民党は議席を減らしたものの、自民、公明を合わせた与党で参院の過半数を維持したことは

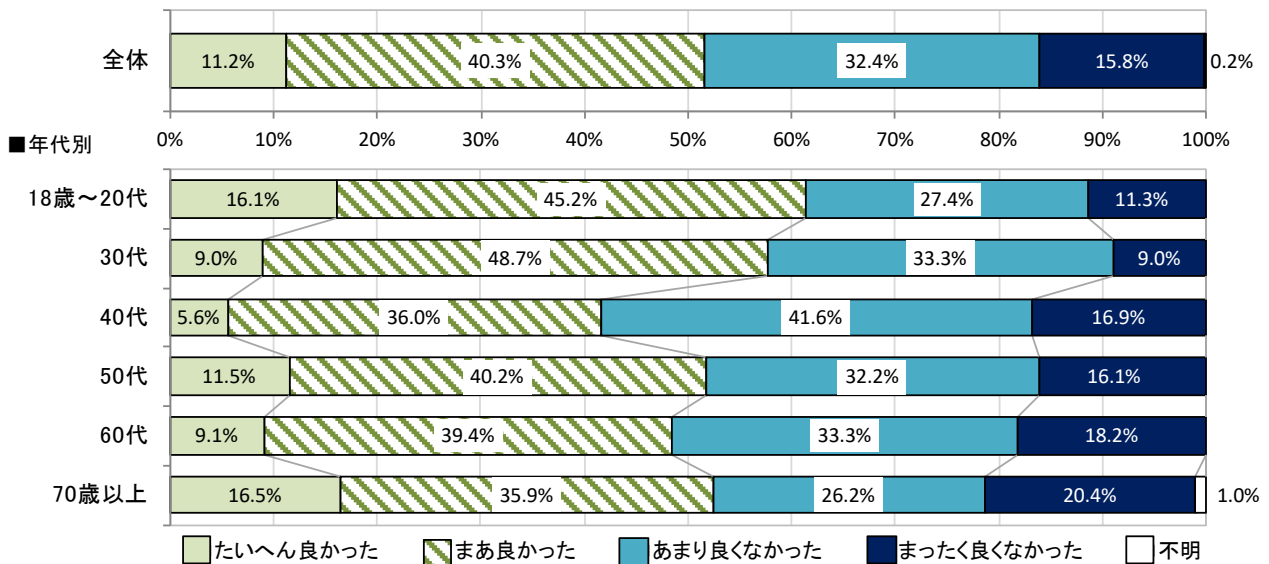
◆自公が過半数維持「良かった」計52%

クロス集計表 18 ページ

「たいへん良かった」(11.2%)と「まあ良かった」(40.3%)が計51.5%。「あまり良くなかった」(32.4%)と「まったく良くなかった」(15.8%)は計48.2%。

年代別にみると、「たいへん良かった」「まあ良かった」の合計は、「18歳～20代」が61.3%で最も高く、次いで30代の57.7%。40代が41.6%で最も低かった。

また、支持政党なし層では、「あまり良くなかった」「まったく良くなかった」が計69.0%。



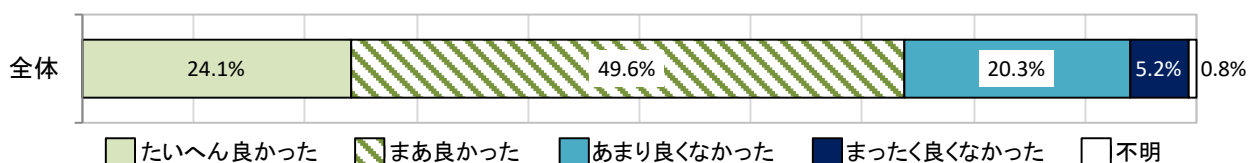
B 自民、公明の与党と、安倍政権下での憲法改正に前向きな政党、議員を合わせた「改憲勢力」の議席が国会発議に必要な3分の2を割ったことは

◆「改憲勢力」3分の2割れ「良かった」計74%

クロス集計表 19 ページ

「たいへん良かった」(24.1%)と「まあ良かった」(49.6%)が計73.7%、「あまり良くなかった」(20.3%)と「まったく良くなかった」(5.2%)は計25.5%。

支持政党別にみると、「たいへん良かった」「まあ良かった」の合計は、自民党支持層でも53.8%と半数超、公明党支持層は68.0%。支持政党なし層は84.0%に上った。



安倍内閣支持率

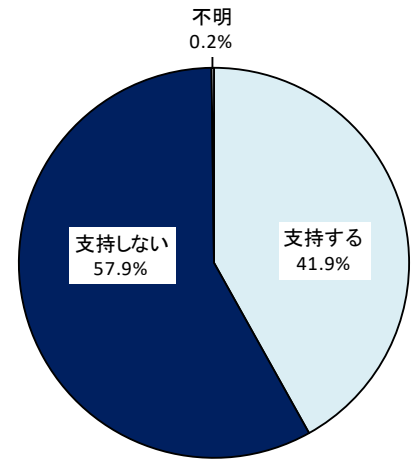
問2 あなたは、安倍内閣を支持しますか

◆支持 42%、不支持 58%

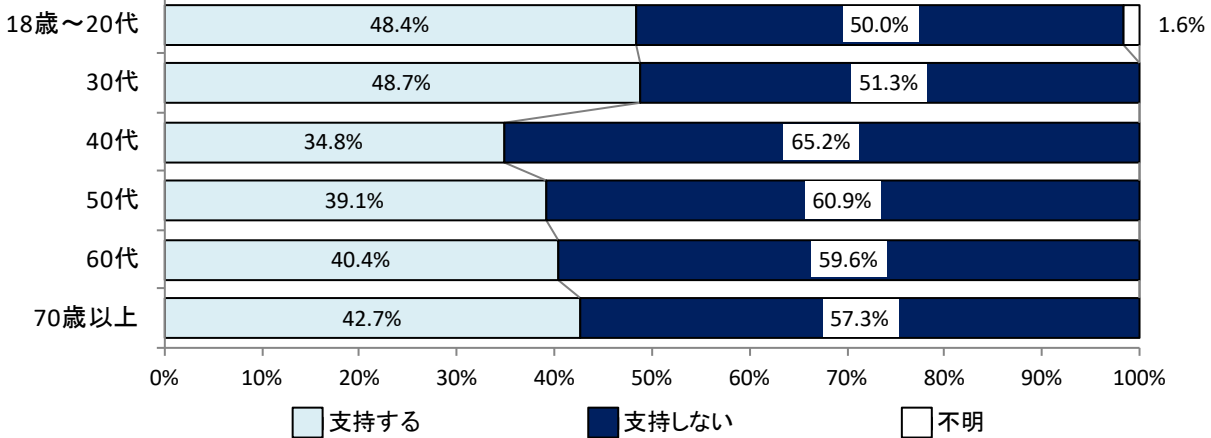
クロス集計表 20 ページ

このモニター調査では、森友・加計問題などを受ける形で、2017年8月の調査で支持率が急落し、以後、差は縮まっているものの、6回連続で不支持が支持を上回っている。

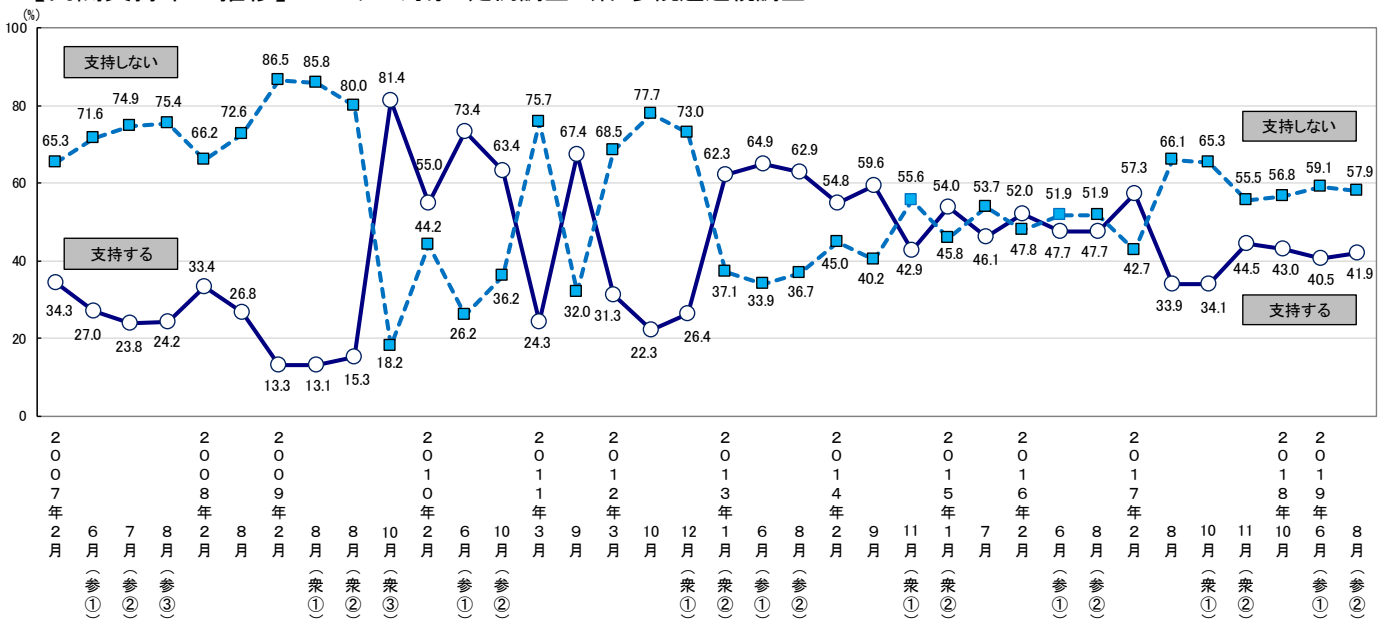
年代別にみると、6つの全年代で不支持が支持を上回ったが、「18歳～20代」「30代」はそれぞれ1.6ポイント、2.6ポイントの僅差。職業別では「パート・アルバイト」の支持率が56.5%と唯一5割を超えた。



■年代別



【内閣支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



安倍内閣	福田内閣	麻生内閣	鳩山内閣	菅内閣	野田内閣	安倍内閣
------	------	------	------	-----	------	------

※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は選挙後に実施している。他は定例調査。

問3 (問2で「①支持する」と答えた方にお尋ねします)
 支持する理由は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください

◆支持理由 「ほかに適当な人がいない」55%

クロス集計表 21 ページ

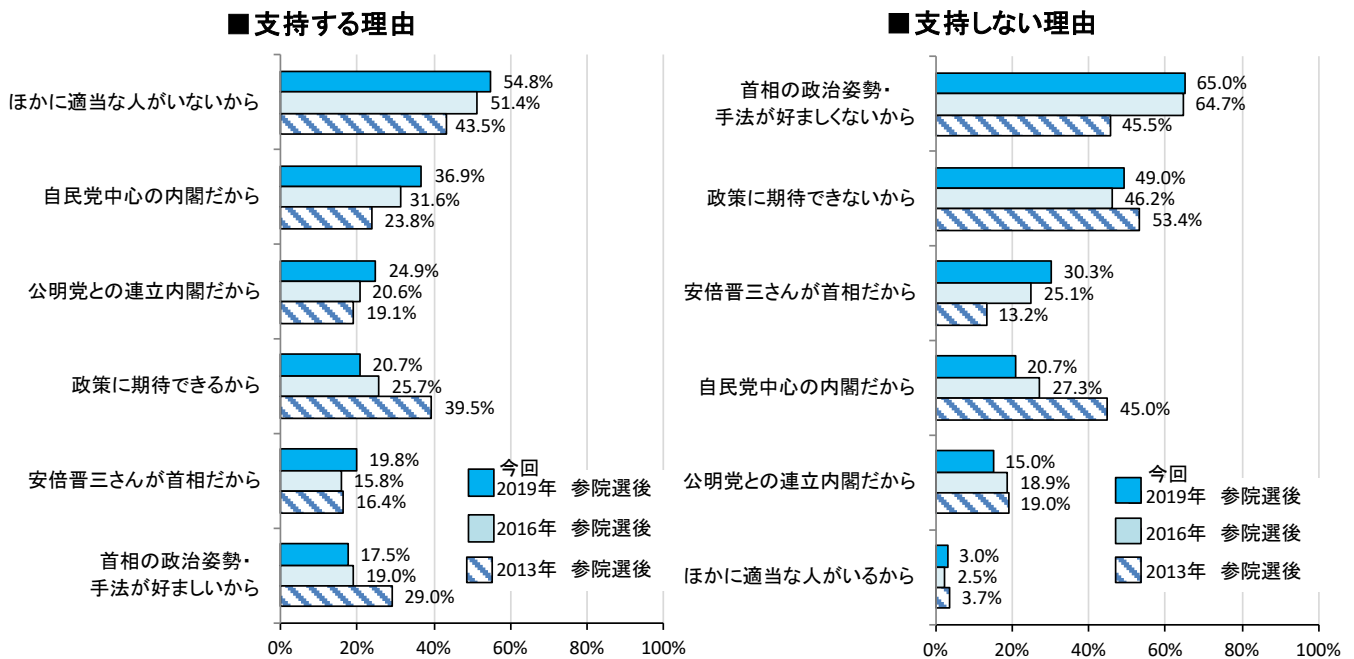
「ほかに適当な人がいないから」が今回も54.8%で最多。次いで、「自民党中心の内閣だから」36.9%。「政策に期待できるから」は20.7%と伸びなかった。

問4 (問2で「②支持しない」と答えた方にお尋ねします)
 支持しない理由は何ですか。次の中から2つ以内に絞ってお答えください

◆不支持理由 「首相の政治姿勢・手法が好ましくない」65%

クロス集計表 22 ページ

「首相の政治姿勢・手法が好ましくないから」が最多の65.0%。次いで、「政策に期待できないから」49.0%。「安倍晋三さんが首相だから」は30.3%と2016年参院選後の調査より5.2ポイント増えた。



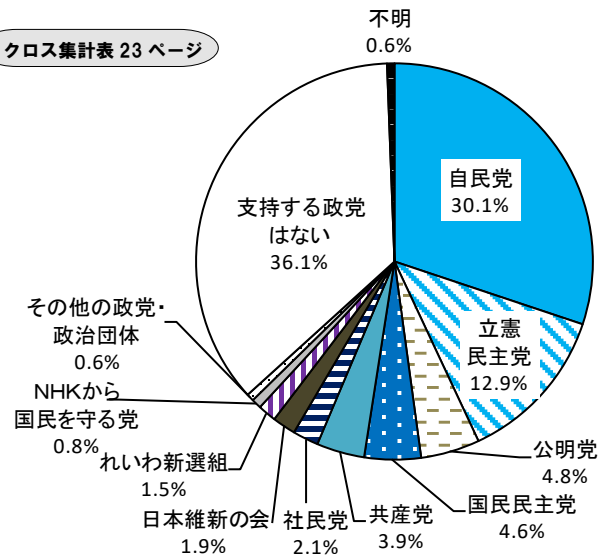
支持政党

問5 あなたは、どの政党を支持していますか

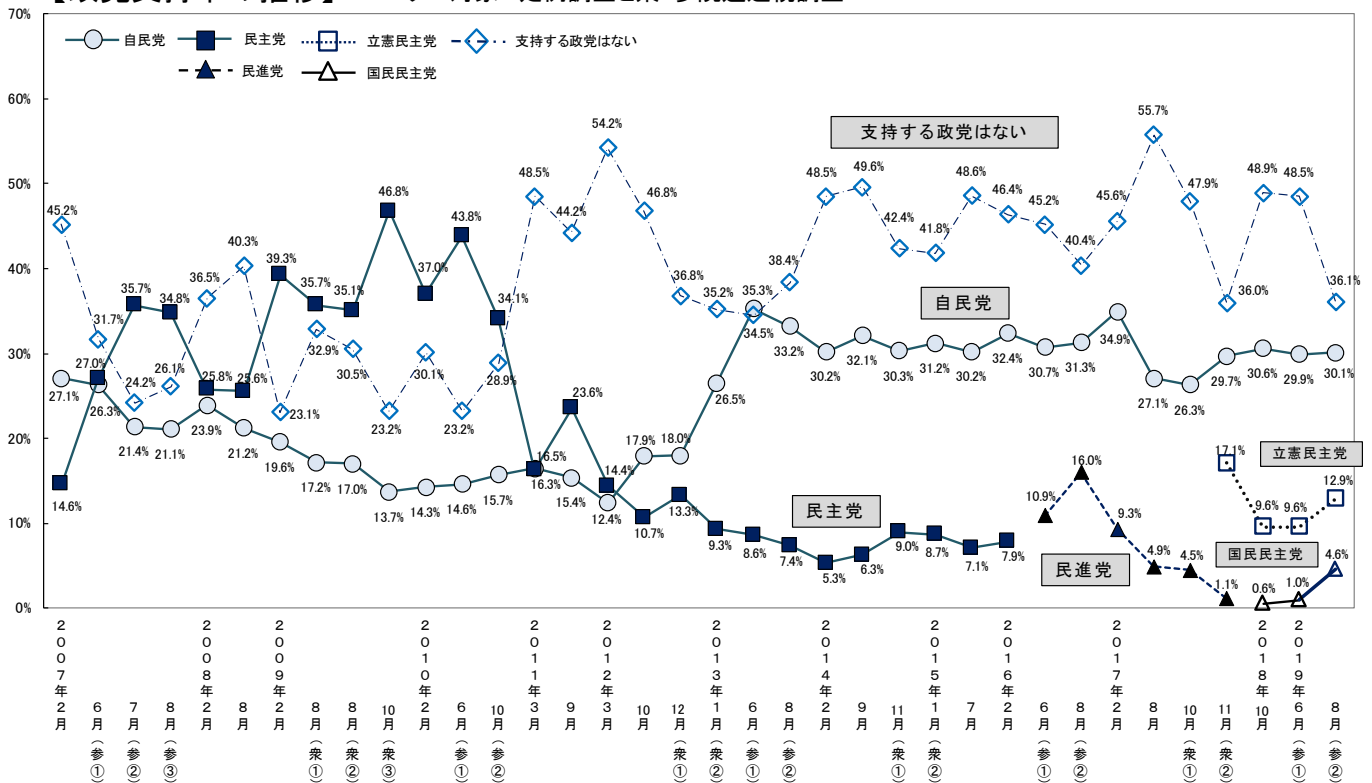
◆自民 30% 立民 13% 支持なし 36%

クロス集計表 23 ページ

自民党は 30.1% で参院選公示前と比べ 0.2 ポイント増で横ばい、立憲民主党は 12.9% で 3.3 ポイント、国民民主党は 4.6% で 3.6 ポイントそれぞれアップした。



【政党支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



安倍内閣	福田内閣	麻生内閣	鳩山内閣	菅内閣	野田内閣	安倍内閣
------	------	------	------	-----	------	------

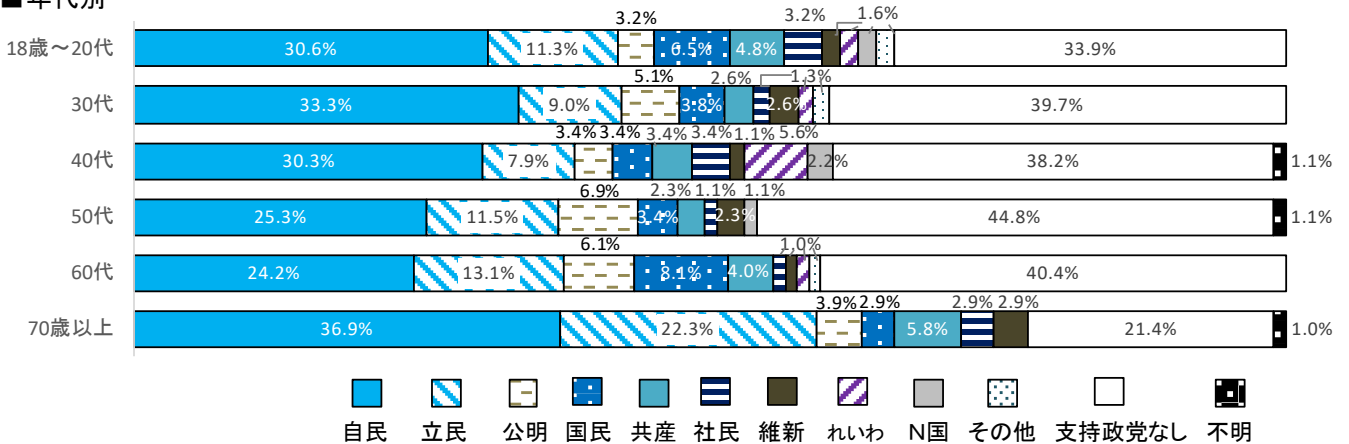
※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は選挙後に実施している。他は定例調査。

◆年代別 若年層が上位に

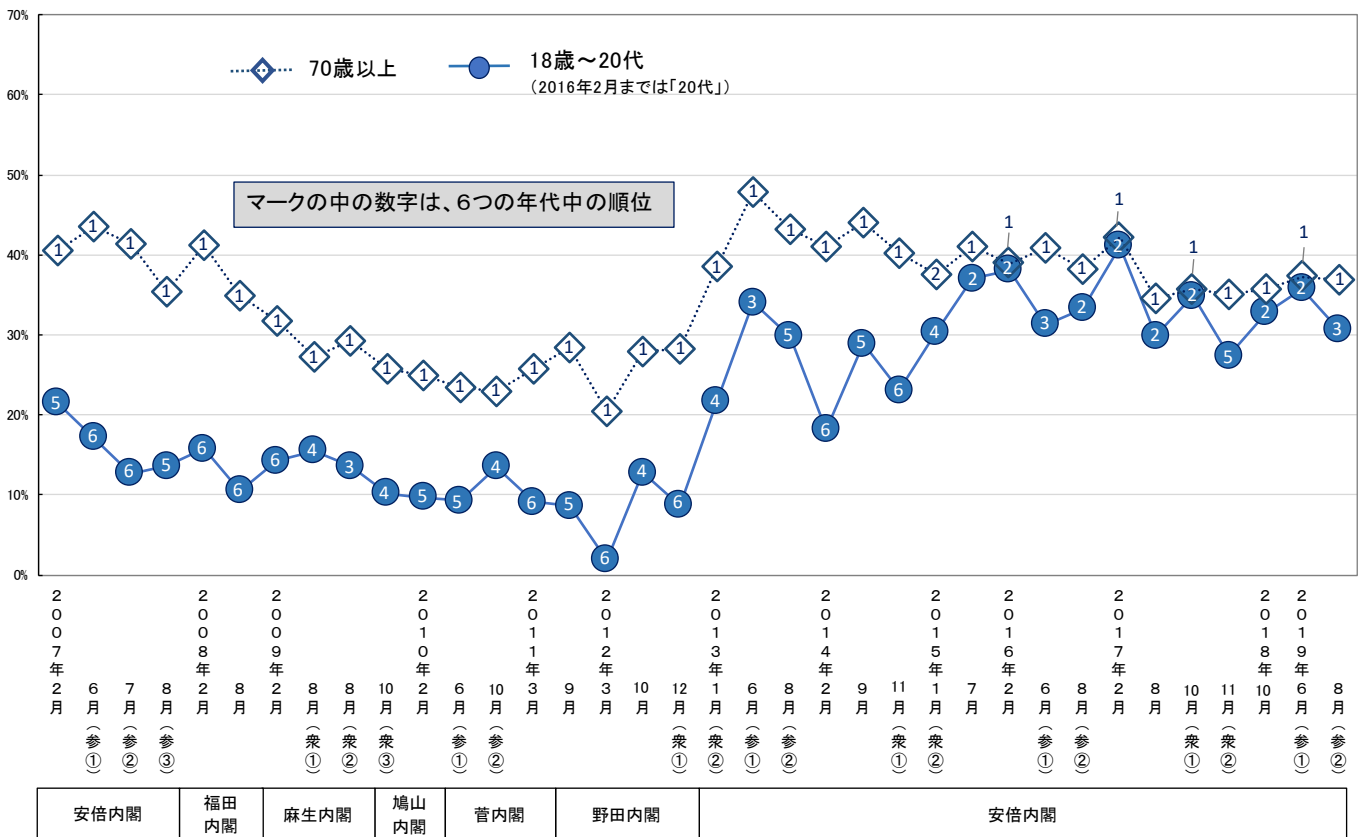
6つの年代別にみると、自民党支持率が最も高いのは「70歳以上」の36.9%。次いで、30代33.3%、「18歳～20代」30.6%。若い世代の順位が浮上している。

第1次安倍内閣当時の2007年2月以降、12年間・36回のモニター調査をみると、自民党支持率は、「70歳以上」が15年1月の2位を除き全て1位=下の折れ線グラフ。一方、「18歳～20代」(16年2月調査まで「20代」)は、15年1月まで25回の調査では、6位(最下位)が10回で最も多く、5位7回、4位6回、3位2回だったが、15年7月以降11回の調査では、2位が8回で最も多く、今回を含め3位2回、5位1回となっている。

■年代別



【自民党支持率 「70歳以上」と「18歳～20代」の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は選挙後に実施している。他は定例調査。

政治課題

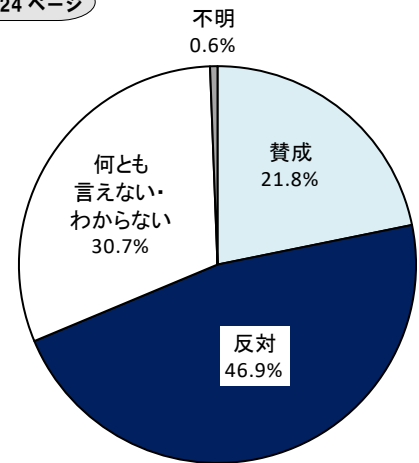
問6 安倍首相が目指す、憲法9条に自衛隊を明記する憲法改正に、あなたは、賛成ですか、反対ですか

◆9条への自衛隊明記 賛成 22% 反対 47%

賛成は21.8%で、反対が46.9%と2倍超。「何とも言えない・わからない」も30.7%。

自民党支持層は、賛成48.1%、反対16.7%と賛成が3倍近い。公明党支持層は、賛成、反対がいずれも24.0%と割れた。支持政党なし層は、賛成が11.2%にとどまり、反対が56.1%。

クロス集計表 24 ページ



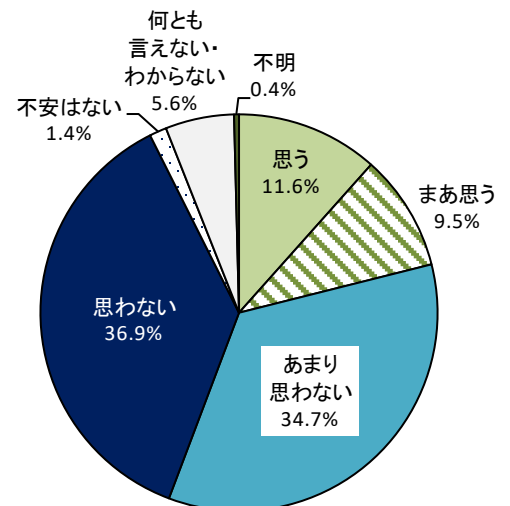
問7 あなたは、年金や老後資金に不安がありますか、ありませんか。あるとすれば、今後、解消される方向へ進むと思いますか

◆不安解消へ進むと「思わない」計 72%

参院選の争点の一つとなった年金や老後資金問題。不安は解消される方向へ進むと「思う」(11.6%)「まあ思う」(9.5%)は計21.1%で、「あまり思わない」(34.7%)「思わない」(36.9%)が計71.6%を占めた。「不安はない」は1.4%。

年代別にみると、不安解消へ進むと「思う」「まあ思う」は、「18歳～20代」が計30.7%で最も高く、50代が計11.4%で最も低かった。

クロス集計表 25 ページ

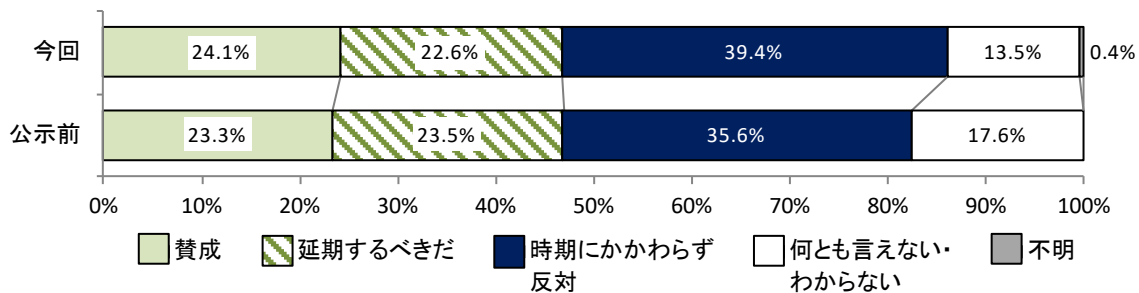


問8 あなたは、消費税率を10月に8%から10%に引き上げることについて、どう思いますか

◆消費増税 支持広がらず

クロス集計表 26 ページ

参院選公示前の調査と同じ設問。「時期にかかわらず反対」が最も多い39.4%、「延期するべきだ」が22.6%、「賛成」は24.1%。10月の消費増税に支持が広がっていない。

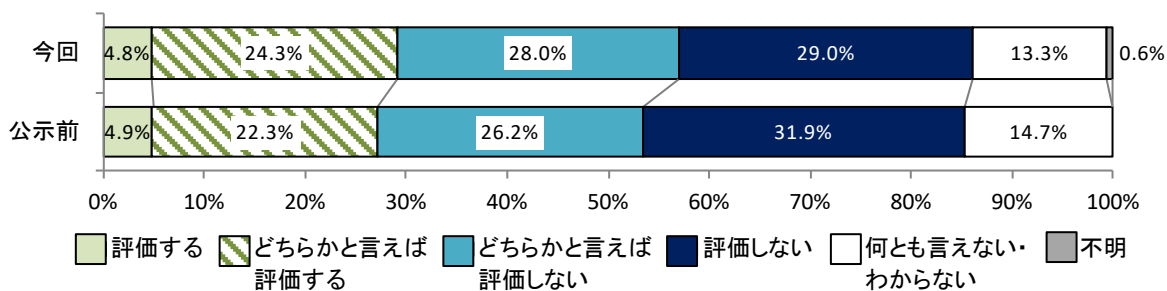


問9 あなたは、安倍政権の経済政策「アベノミクス」(金融緩和、財政出動、成長戦略)を評価しますか

◆アベノミクス「評価」計29%

クロス集計表 27 ページ

参院選公示前の調査と同じ設問。「評価する」「どちらかと言えば評価する」は計29.1%、「どちらかと言えば評価しない」「評価しない」が計57.0%と、選挙後も傾向に大きな変化は見られなかった。



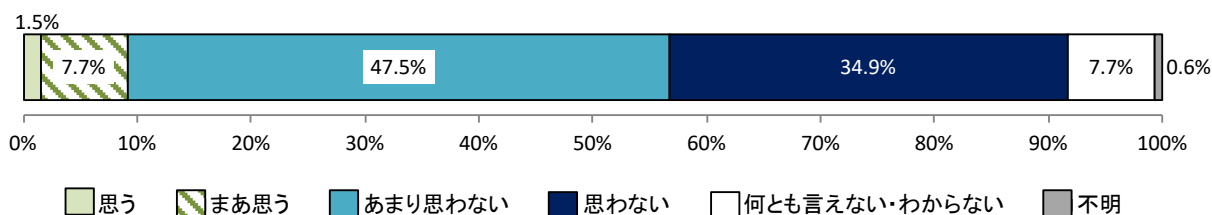
問 10 あなたは、東京一極集中の是正や人口減少の克服などを目指す安倍政権の政策「地方創生」は成果を上げていると思いますか

◆地方創生 成果上げていると「思わない」計 82%

クロス集計表 28 ページ

「地方創生」は安倍政権の看板政策の一つ。成果を上げていると「思う」(1.5%)「まあ思う」(7.7%)は計9.2%にとどまり、「あまり思わない」(47.5%)「思わない」(34.9%)が計82.4%に上った。

自民党支持層でも「あまり思わない」「思わない」が計66.1%、支持政党なし層では計90.9%に上った。また、職業別にみると、「思う」「まあ思う」が、「役員・管理職・自由業」で計16.0%と最も高く、「農・林・漁業」では5.6%と最も低かった。



国民本位の政治 期待できるか

問 11 あなたは、安倍首相に、国民本位の政治を期待できると思いますか

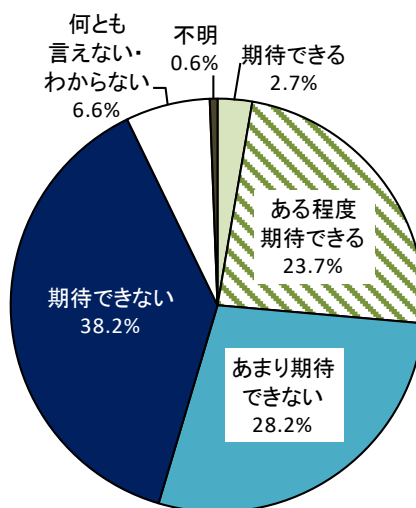
◆国民本位の政治 「期待できない」計 3 人に 2 人

クロス集計表 29 ページ

「期待できる」(2.7%)「ある程度期待できる」(23.7%)は計26.4%。「あまり期待できない」(28.2%)「期待できない」(38.2%)が計66.4%。

支持政党別にみると、自民党支持層では「期待できる」「ある程度期待できる」が計60.9%で、「あまり期待できない」「期待できない」は半分の計29.5%。一方、支持政党なし層は、「あまり期待できない」「期待できない」が計86.1%を占めた。

男女別にみると、「期待できない」との最も厳しい見方は、男性が44.5%、女性は32.6%と11.9ポイントの差が出た。



力を入れてほしい課題

問 12 あなたが、力を入れてほしい政治の重要な課題は何ですか。
次の中から、2つ以内に絞ってお答えください

◆ 「年金・社会保障・医療」「景気・雇用」

クロス集計表 30 ページ

「年金・社会保障・医療」が 57.1% でトップ。2017 年 2 月の調査以降、4 回連続トップで、
前回 18 年 9 月に比べ 11.8 ポイント増。年金、老後資金不足問題などへの対応が引き続き
課題になることを示した。

